

10月 幼児部だより

令和2年10月26日発行 洗足池保育園

朝晩の冷え込みも増し、すっかり秋の深まりを感じます。公園の葉っぱも、赤色や黄色など、少しずつ色づいてきましたね。保育室からは、『とんぼのめがね』や『どんぐりころころ』など、子ども達のかわいい歌声が響いています。



今月の一コマ

ハロウィン楽しみだな♪
わかば組は猫に仮装するよ!



毛糸を使って
ぶどうを作ったよ☆彡

★10月生まれのおともだち★

- ・S・Sちゃん(4歳)
- ・M・Mくん(4歳)
- ・K・Yくん(6歳)
- ・K・Rくん(6歳)
- ・K・Tくん(6歳)

おめでとう!



♪11月の歌♪

- ・やきいもグーチーパー
- ・山の音楽家
- ・せかいじゅうのこどもたちが



わかば組

製作に興味を持つ子ども達。最近、「今度は○○作ってみたい!」という言葉をよく聞くようになりました。今回は、どんぐりを使ってリースを作った時の事をご紹介します。散歩に行き、どんぐりを拾うと「このどんぐり綺麗だね」「どんぐりの帽子も落ちていたよ!」と一つの袋がいっぱいになるぐらい皆で集めました。園に戻り、「このどんぐりで何か作りたい?」と保育者が聞き、どんぐりを使った工作の本を渡すと、「リースを作りたい!」と言う子ども達。製作が始まると、作りたいリースをイメージしながら、次々とボンドでどんぐりを貼っていきました。中にはスパコンールやどんぐりの帽子を一緒に貼る子もいましたよ!完成すると、「見て!可愛いでしょ?」や「写真撮って!」と嬉しそうに見せてくれました。また、「今度はどんぐりを使っておもちゃ作りたい!」と話す子もいましたよ。このように自分達で考えながら製作を楽しむ姿を見て嬉しく思います。



これからも自然物を使った遊びや製作を子ども達と考えながら取り入れていきたいと思っています。

あおば組

先日、お月見お団子製作をしました。今年は、グループに分かれ、お団子は紙粘土、お皿は紙皿を使い、自由に作ってもらいました。どのグループも、「お団子作る人とお皿作る人に分かれようよ!」と言い、二手に分かれて取り組んでいました。お団子を作るチームは、紙粘土を細かくちぎり、少し水を加えながら柔らかくなるまでこねました。保育者に耳たぶくらいの硬さになるといいという事を教えてもらって、皆で自分の耳たぶを触り、「このくらいかな?」と確認していましたよ♪また、「棒に刺さってるお団子も作りたい」と串団子を作るグループもありました。お皿チームは、様々な形の紙皿から、お団子がたくさん入るお皿の一つを選ぶグループや何種類かの紙皿を組み合わせて作るグループなど様々でした。また中には、「本物の皿ってどうなってるの?」と言い、保育園に飾ってある三方を見に行くグループもありました!グループによって、お団子やお皿の形が違い、個性豊かな作品になりました♪子ども達も「写真撮っておいて!」と言うほど、自分達で作った作品を気に入っている様子でしたよ。



今後も、子供たちの発想を大切にしていきながら、楽しい活動をしていこうと思います。